

# 令和4年度 学力向上推進計画

豊見城市立長嶺小学校

## 1 目標

授業改善と学習基盤の確立により、国及び県の学力調査において、国語・算数で県・市平均正答率かそれ以上を目指す。

## 2 推進目標

- (1) 全国学力・学習状況調査並びに市学力調査、県学力到達度調査において、県・市平均正答率かそれ以上を目指す。
- (2) 県学力到達度調査並びにまなびの確かめにおいて落ち込んだ項目の改善を図る。

## 3 取組の重点

(1) キャリア教育の視点を踏まえた「確かな学力」の向上の推進

- ① 学校支援地域本部の地域教育資源や保護者・地域の人材を活用した授業を推進し、目的意識の高揚と学習意欲の向上を図る。
- ② 朝の読書に取り組み、学習への雰囲気作り・心づくりを図る。
- ③ 朝の学習に取り組み、国語・算数の基礎基本の定着を計る。

(2) 他者と関わり合いながら、課題解決に向かい「問い」が生まれる「わかる」授業の構築

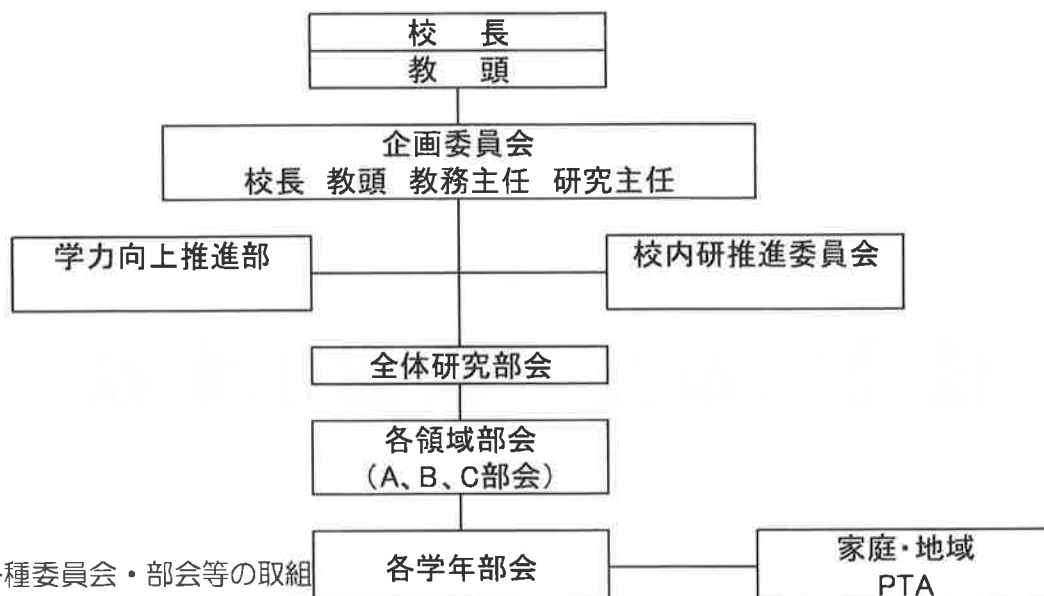
- ① 校内研修として「思いや考えを表現できる児童の育成」の研究に取り組み、国語科における書く活動の学習指導の工夫を通して分かる授業改善に活かす。
- ② 講師を招聘し理論研を行う。また、各学年での学年研や年1回の全体研での研究授業を通して校内研テーマを深める。また一人1回以上の一人一授業を実施し、指導力の向上を図る。

(3) 市の学力向上推進の取組に連鎖した学力向上の推進

- ① 市の学力向上取組構想に連鎖した学校の取組目標を学年学級経営案に反映させることで、全職員が連携した取組を推進する。

## 4 推進体制

(1) 組織



## 企画委員会

- ・校長、教頭、学推、研究主任で組織する。
- ・学力向上と校内研推進の企画、立案する。
- ・取組の結果を分析、考察し、成果や課題等を整理し、取組のまとめをする。
- ・各学年の指導の効果をまとめたもの「研究紀要」を活用して、次学年に引き継ぎ、継続した取組が展開できるようにする。

## 学力向上推進部会 学推主任（教務）

- ・校長、教頭、教務、研究主任、学年主任で組織する。
- ・実践のマネージメントサイクルに基づく取組を推進する。
- ・企画委員会で企画、立案した内容を検討する。
- ・学力向上推進の運営、調整を行う。

## 校内研修推進委員会

- ・校長、教頭、教務、研究主任、学年主任で組織する。
- ・校内研修の企画・立案・運営を行う。
- ・学力向上推進部会と連携する。

## 学推全体会

- ・全職員で学力向上の取組について共通理解する。

## 各領域部会（A 1～3、B 4～6、C 7～8部会）

- ・ A（1～3）：確かな学力の向上 B（4～6）：豊かな心の育成 C（7～8）：豊かな体の育成と部会を3つに分け、全職員で具体的実践の推進をする。
- ・各部会で具体的実践事項を確認し、実践する。
- ・各部会で決められた事項は自分の学年でも連絡・周知する。

## 学年部会

- ・各学年単位での学力向上における日常的な取組を実践する。
- ・各教科の年間指導計画を活用し、基礎・基本の定着を目指す。
- ・取組の重点を踏まえ、学年・学級経営を行う。

## 家庭・地域・PTA

- ・家庭学習において学校と連携を図る。
- ・読書の推進を連携して行う。
- ・学力定着月間・強化月間での支援（丸付けボランティア）
- ・校外指導活動で児童の安全を見守る。
- ・校内に花や季節に合わせた掲示物等を飾り、児童の豊かな心をはぐくむ。

## 5 具体的な取組内容

### 1) 本に親しむ時間の設定（朝読書）

- ・読書に親しむことで、本への関心を高め、読解力の向上を図る。
- ・落ち着いた雰囲気です学習に向かう姿勢を作る

### 2) 基礎・基本の定着（朝の学習）

- ・朝の10分の時間で基礎・基本の定着を図る活動を行う。
- ・火曜日は国語（漢字や言語事項）、木曜日は算数（計算等）を実施する。朝会のない水曜日や、ブックメイトがない金曜日にも実施する。
- ・実施内容は学年の実態に合わせて学年に一任する。ただし、学年内では実施内容を一致させる。

### 3) 学力定着・学習規律強化月間・夏休みの補習・学力強化月間

- 国語、算数、理科（5年のみ）で、その月までの単元で落ち込んでいる内容を指導する。
- 県や市の学力到達度調査への対応としても活用する。
- 昨年度までの県・市の結果で落ち込んだ箇所をもとに、県の Web にある過去の問題や業者の問題に取り組む。
- 市学習支援ボランティアや保護者による丸付けボランティアの協力を得る。
- 1回目 学力定着・学習規律強化月間 4月（1ヶ月間）※特別に補習は行わない。
  - ・前年度の市や県の学力調査で落ち込んだ箇所を定着させる。
  - ・年度スタートの月に「長嶺スピリット」等の学習規律を徹底させる。
  - ・「家庭学習の手引き」を参照に家庭学習の定着を図る。（別紙参照）
- 2回目 夏休み補習 夏休み入ったの2日間。7月21日（木）、22日（金）
  - ・国語や算数の基礎基本の定着を図る。
- 3回目 学力強化月間 丸付けボランティアの来校  
11月7日（月）・14日（月）・28日（月）（合計3回）
  - ・6月・7月・9月・10月で落ち込んだ単元を定着させる。
  - ・前年度の市や県の学力調査で落ち込んだ箇所を定着させる。
  - ・12月の市到達度調査（標準学力調査）に向けた練習問題を実施する。
- 4回目 学力強化月間 丸付けボランティアの来校  
1月23日（月）・30日（月）・2月6日（月）・13日（月）（合計4回）
  - ※5年は丸付けボランティアはなし（学年による取り組み）
  - ・2月の県到達度調査に向けて前学年・今学年の落ち込んだ単元を定着させる。
  - ・2月の県到達度調査に向けて練習問題を実施する。
  - ※5年は全国学力調査に向けた練習問題を実施する。

- 4) 家庭学習定着旬間 1回目； 6月 7日（月）～ 6月20日（日） 2週間  
2回目； 11月 8日（月）～11月21日（日） 2週間

- ・上記の期間に、児童にも家庭にも家庭学習を意識させるために、「家庭学習の手引き」「家庭学習カレンダー」と公文を配布し、家庭での点検と奨励を依頼する。
- ・金賞になった児童には家庭学習カレンダーに金賞のシールを貼り、返却する

- 5) 生活リズム調査 1回目； 6月 7日（月）～ 6月13日（日） 1週間  
2回目； 11月 8日（月）～11月14日（日） 1週間

生活リズム習慣について①朝ごはんを食べた。②テレビの視聴時間。③家庭での読書時間。④家庭学習の時間（学年×10+10）⑤就寝時刻（低学年21：30 高学年22：00）についてアンケートを取り、児童の生活実態を把握して指導に生かし、家庭との連携を図る。



実践 評価	10月	○学級役員任命 ○長嶺小学校の授業づくり構想とリーフレットの進捗状況確認 (授業づくりアンケート)
	11月	○校長講話(全体放送にて学力強化月間についての話) ○学力強化月間の実施:学年スローガンの作成・掲示、学年朝会での激励 ○家庭学習カレンダー② ○生活リズム実態調査② ○てくてく登校推進旬間②の実施
	12月	○市学力調査の実施 ○各学年の学力向上推進の取組反省、評価
改善 計画	1月	○市学力向上推進報告書の作成 ○学力向上推進報告会 ○学力定着旬間の実施 ○てくてく登校推進旬間③の実施 ○長嶺小学校の授業づくり構想とリーフレットの進捗状況確認 (授業づくりアンケート)
	2月	○学力定着月間②の実施 ○県到達度調査
	3月	○ランドセル表彰 ○次年度計画策定

## 7 成果等の公表

### 校内学力向上推進成果報告会

期 日 令和5年 1月 26日(木)

場 所 体育館

内 容 本校における学力向上推進の取組及び成果と課題についての報告を行う。

時 間 授業参観の2校時と3校時の間 10:10~10:20(10分)